

nikko am

Nikko Asset Management

グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第4期 (決算日2019年1月21日)

作成対象期間 (2018年7月21日～2019年1月21日)

第4期末 (2019年1月21日)

| | |
|------------|-----------|
| 基準価額 | 9,153円 |
| 純資産総額 | 24,539百万円 |
| 第4期 | |
| 騰落率 | △9.1% |
| 分配金(税込み)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)」は、2019年1月21日に第4期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

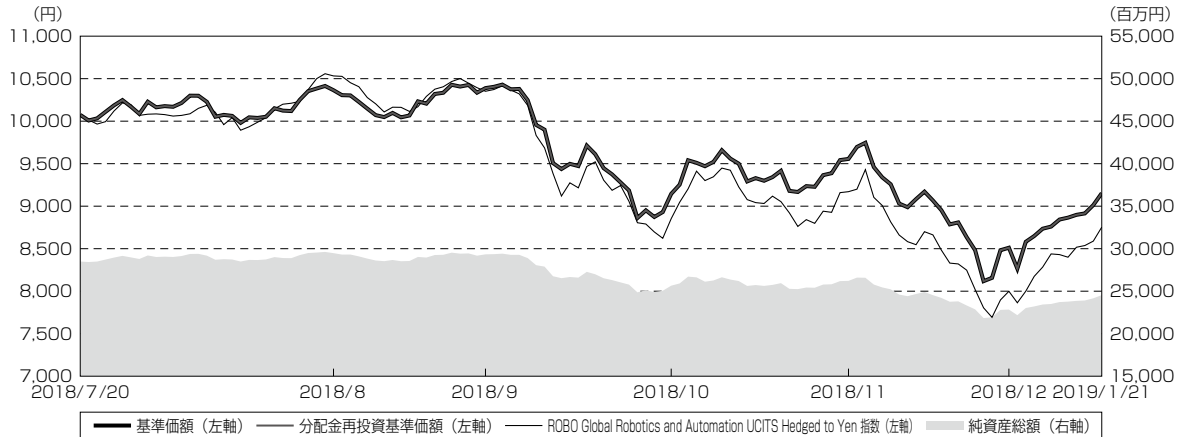
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年7月21日～2019年1月21日)



期 首 : 10,074円
 期 末 : 9,153円 (既払分配金 (税込み) : 0円)
 騰 落 率 : △9.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は、期首 (2018年7月20日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 旺盛な需要を背景に、農業自動化関連や研究室自動化関連などの銘柄の株価が比較的堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・グローバル経済の減速懸念を背景に、世界的に株価が軟調に推移したこと。
- ・米中の貿易問題などを背景に設備投資が一時的に抑制されたことから、F A（ファクトリー・オートメーション）関連や半導体関連などの銘柄の株価が軟調に推移したこと。

1万口当たりの費用明細

(2018年7月21日～2019年1月21日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------|---------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 93 | % 0.963 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (45) | (0.465) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (45) | (0.465) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| (受託会社) | (3) | (0.033) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 0 | 0.004 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (0) | (0.004) | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有価証券取引税 | 0 | 0.000 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| (株式) | (0) | (0.000) | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 | 2 | 0.016 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (0) | (0.004) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印刷費用) | (1) | (0.009) | 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 95 | 0.983 | |
| 期中の平均基準価額は、9,675円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年1月20日～2019年1月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2017年1月23日です。

| | 2017年1月23日 設定日 | 2018年1月22日 決算日 | 2019年1月21日 決算日 |
|---|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 11,550 | 9,153 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 2,400 | 200 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 41.8 | △19.2 |
| ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数騰落率 (%) | — | 50.4 | △21.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 10 | 19,092 | 24,539 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年1月22日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2018年7月21日～2019年1月21日)

(株式市況)

当期間の世界の株式市場は、米国の好調な企業決算が評価されたことなどから比較的堅調な展開で始まりました。しかしその後は、主力ハイテク企業の決算が市場予想を下回ったことや米国長期金利の上昇が警戒されたこと、米中の貿易問題が長期化するととの観測を背景に、大きく調整する展開となりました。2018年11月に実施された米国の中間選挙が概ね事前予想通りの結果となり政治的不透明感が後退したことや、米中の貿易摩擦緩和への期待の高まりから一時反発したものの、グローバル経済の減速懸念が台頭したことから、年末にかけて軟調な展開となりました。その後、期間末にかけてはやや反発し、市場は落ち着きを取り戻しました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、中長期的なロボティクス市場の拡大期待を背景に、農業関連や研究室自動化関連などの銘柄が好調に推移した一方、米中の貿易問題を背景に設備投資が一時的に抑制されたことから、F A関連や半導体関連などの銘柄が軟調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年7月21日～2019年1月21日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

(グローバル・ロボティクス株式マザーファンド)

当ファンドでは、ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行ないました。

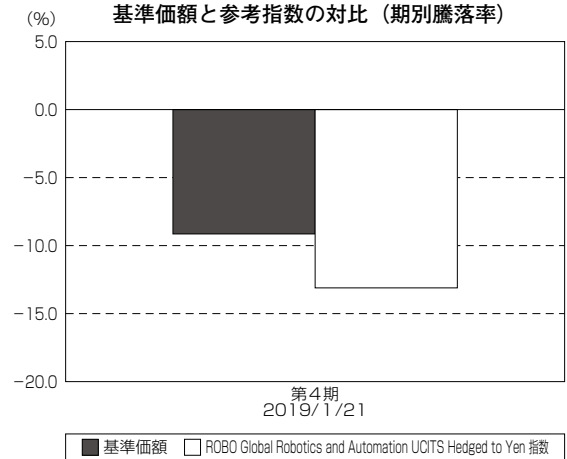
当期間は、資本財・サービスセクター、情報技術セクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待される資本財・サービスセクターや情報技術セクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年7月21日～2019年1月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2018年7月21日～2019年1月21日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目 | 第4期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2018年7月21日 ～2019年1月21日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 122 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行いません。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円で為替ヘッジを行いません。

(グローバル・ロボティクス株式マザーファンド)

株式市場では、米中の貿易問題や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の行方など、様々な不透明要素を背景に値動きの大きい展開が続いています。今後も先行きが見通しにくい環境が予想されるものの、先進国や中国における生産年齢人口の減少という人口動態の変化や、新興国での賃金上昇、テクノロジーの進歩といった、当ファンドの成長ストーリーの根幹をなす要素は、足元で生じている貿易問題の混乱などによって長期的に変化するものではありません。これに加え、米国における生産比率の引き上げを余儀なくされる企業からの投資が行なわれることにより、自動化の流れは更に促される可能性も高まっていると考えられます。加えて、テクノロジーの進化が、医療の高度化・効率化、移動の効率化など人々の暮らしをより良くするために活用される流れも変わらないとみており、引き続きこれらの分野も投資魅力は高いと考えています。

このように大きな流れが変わらないなか、短期的な株価変動は、割高な銘柄を売り、割安な銘柄を買うチャンスと捉え、この機会を活用してバリュエーションを重視した運用を今後も継続していく方針です。

引き続き、強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

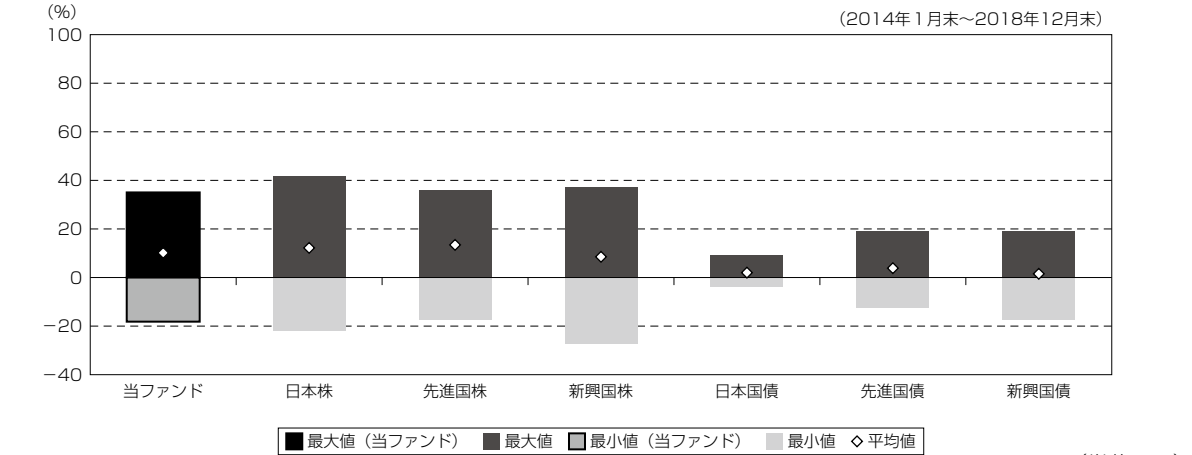
2018年7月21日から2019年1月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2017年1月23日から2025年7月22日までです。 | |
| 運用方針 | 主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型) | 「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | グローバル・ロボティクス 株式マザーファンド | 日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。産業用やサービス用などのロボットを製作する企業のみならず、ロボット関連技術であるAI（人工知能）やセンサーなどの開発に携わる企業も投資対象とします。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。 | |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 最大値 | 35.0 | 41.9 | 36.2 | 37.2 | 9.3 | 19.3 | 19.3 |
| 最小値 | △18.2 | △22.0 | △17.5 | △27.4 | △4.0 | △12.3 | △17.4 |
| 平均値 | 10.2 | 12.2 | 13.4 | 8.5 | 2.0 | 3.8 | 1.5 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 (注) 2014年1月から2018年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2018年1月以降の年間騰落率を用いております。
 (注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
 (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
 (各資産クラスの指数)
 日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)
 先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)
 (注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数

ROBO Global Robotics and Automation UCITS Hedged to Yen 指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年1月21日現在)

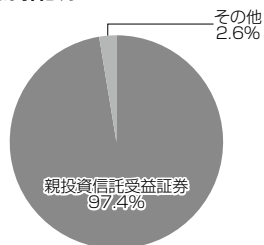
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第4期末 |
|-----------------------|------|
| | % |
| グローバル・ロボティクス株式マザーファンド | 97.4 |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

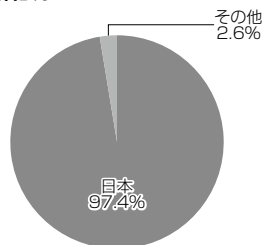
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

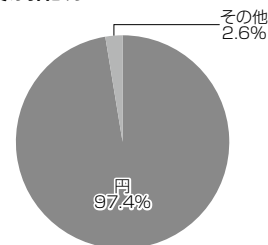
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項目 | 第4期末 |
|------------|-----------------|
| | 2019年1月21日 |
| 純資産総額 | 24,539,840,338円 |
| 受益権総口数 | 26,810,123,538口 |
| 1万口当たり基準価額 | 9,153円 |

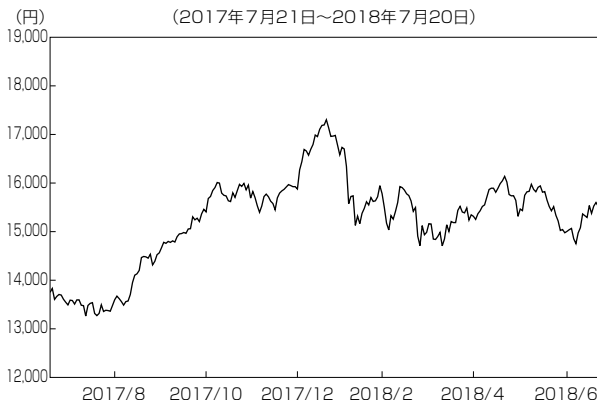
(注) 期中における追加設定元本額は1,047,440,726円、同解約元本額は2,517,727,037円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年7月21日～2018年7月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年7月21日～2018年7月20日)

| 項目 | 当期 | |
|---------------------|----------|------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 5 (5) | 0.035 (0.035) |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 1 (1) | 0.010 (0.010) |
| (c) その他費用 (保管費用) | 1 (1) | 0.009 (0.009) |
| (その他) | (0) | (0.000) |
| 合計 | 7 | 0.054 |

期中の平均基準価額は、15,166円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

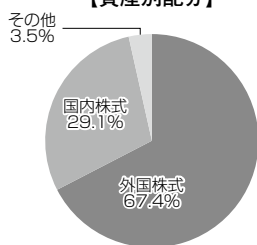
【組入上位10銘柄】

(2018年7月20日現在)

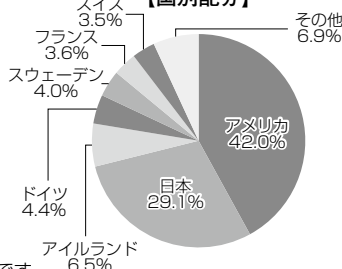
| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------------------------------|--------------|--------|-------|------|
| 1 INTUITIVE SURGICAL INC | ヘルスケア機器・サービス | アメリカドル | アメリカ | 5.8% |
| 2 キーエンス | 電気機器 | 円 | 日本 | 5.0% |
| 3 ROCKWELL AUTOMATION INC | 資本財 | アメリカドル | アメリカ | 4.6% |
| 4 ALPHABET INC-CL C | ソフトウェア・サービス | アメリカドル | アメリカ | 4.2% |
| 5 ABB LTD-REG | 資本財 | スイスフラン | スイス | 3.5% |
| 6 STRYKER CORP | ヘルスケア機器・サービス | アメリカドル | アメリカ | 3.3% |
| 7 HONEYWELL INTERNATIONAL INC | 資本財 | アメリカドル | アメリカ | 3.3% |
| 8 ファナック | 電気機器 | 円 | 日本 | 3.1% |
| 9 日立製作所 | 電気機器 | 円 | 日本 | 2.9% |
| 10 DEERE & CO | 資本財 | アメリカドル | アメリカ | 2.8% |
| 組入銘柄数 | 52銘柄 | | | |

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

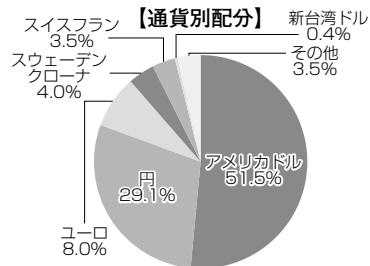
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。